

2012 年 3 月 15 日

プロジェクト報告書

【締切:プロジェクト終了後1か月以内。もしくは 2012年4月30日】

団体名 東大和市レクリエーション協会

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現が「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願いします)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

わが町発見ウォークラリー(東大和市編)

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

※応募申請書に記載のもので可。

活力あるまちづくりには様々な人の協力と参加が必須条件です。従ってその町に住んでいるという共通項を最大限利用し、そこでは面白発見を共有することで仲間意識を作りたいと考えております。その町の歴史なり、その町の自慢なりを共に掘り起こすことは共通のアイデンティティを生むものと思います。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のもので可。

自分の住む町の様々な特徴(建物・史跡)をウォーキングをしながら解き明かしていく大会を開催する。その為に①市民に呼びかけて問題を作成するチームを作る。②具体的に問題となじむか実際に歩いて検証する。③標記のウォークラリーを開催する。の手順で大会を開催します。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

このプロジェクトを成功させるには様々な人の協力が必要です。その為に写真のサークルや地元詳しい人に声をかけることから始めました。しかし、目的ややりたい史跡巡りの話は聞いてくれるものの協力や参加となると様々な理由で無理であるとの人が多かったです。考えられる理由として新たなネットワーク作りに向けて慎重な市民気質の様なものを感じました。(よそ者を警戒する等)そうした中で長年にわたり東大和市をとり続けてきた写真家などから東大和市の珍しい建物や史跡を案内して貰い、今回のウォークラリーに繋がったところです。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

これまでに縁がなかった人たちはと新たなネットワークに挑戦し、多くの協力を得るという点では様々な困難を感じました。ウォークラリーそのものは簡単につくれ、参加した子どもから大人まで楽しんでいただけのものができたと考えております。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

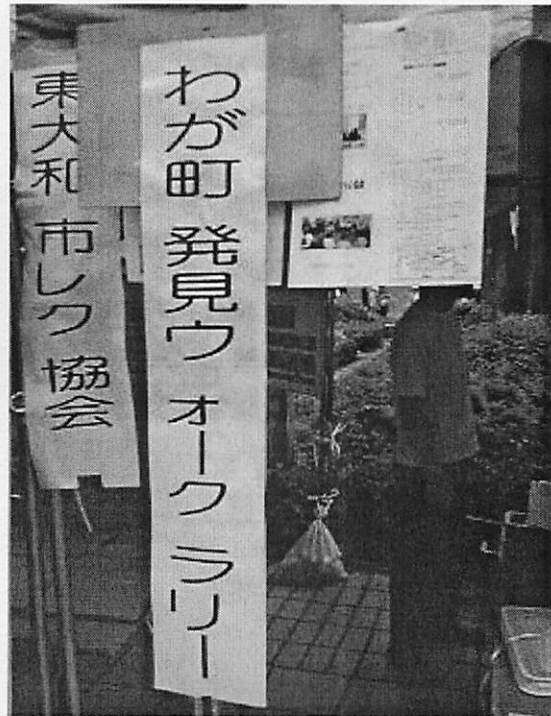
参考資料あり・特になし

真如苑「Shinjo プロジェクト」市民活動公募助成事業

わが町発見ウォークラリー報告書

開催日 第一回 平成23年6月 5日(日) 9時～15時
第二回 平成24年3月10日(日) 9時～15時
会場 東大和市市役所中庭スタートで市内の歴史スポット
主催 東大和市レクリエーション協会

参加者 第一回 43名 (記入者のみ)
第二回 11名 (雨天の為参加者が集まらなかった)
合計 54名の参加
スタッフ 東大和市レクリエーション協会の会員



「わが町発見ウォークラリー」は東大和市の歴史スポットを巡りながら市内に点在する様々な発見をするということではじめました。



受付簿に記入し、やり方を教わりスタートします。場合によっては特別に案内人がつくこともあります。



様々な参加者が来てくれました。

